

都市防災事業計画(第5回変更)

(佐賀地区外8地区都市防災総合推進事業)

高知県黒潮町

平成30年	3月	当初
平成31年	1月	第1回変更
平成31年	3月	第2回変更
令和 2年	1月	第3回変更
令和 2年	10月	第4回変更
令和 3年	1月	第5回変更

(様式1)整備方針等
整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

(町域全域及び事業地区【佐賀地区、有井川地区、上川口地区、浮鞭地区、早咲地区、入野地区、下田の口地区、田野浦地区、出口地区】における防災上の現状及び課題)

黒潮町は、高知県幡多郡「大方町」「佐賀町」の合併による新しい町として、平成18年3月20日に誕生した。四国、高知県の西南地域にあり、幡多郡では東部に位置し、町の面積は188.47平方キロメートルとなっている。北東部を四万十町、北西部を四万十市と接している。北東から南西にかけ細長い地形をなすため、東西で対照的な海岸線を有し、東側は断崖絶壁のリアス式海岸、西側は砂浜等のなだらかな海岸で形成されている。海岸部の地域は大半が人家の密集した大集落で形成され、町の大部分を占める山間部は過疎化の進展が著しい小集落で形成されている。

本町は平成24年3月に内閣府が公表した南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高の推計で最大震度7、最大津波高34.4mという日本一厳しい数字が示された。その後、高知県が公表した「南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測」を基に、避難困難区域の解消を目指して津波避難場所や津波避難路の整備を行ってきたところである。今後も住民が津波から安全・安心に避難できるハード整備、避難放棄者ゼロを目指したソフト施策等、スピード感を持って取り組むことが求められている。特に、津波被害が著しい沿岸部の地区については、最低限命を守るハード整備が喫緊の課題となっている。

また、南海トラフ巨大地震発生時や気象災害発生時に山間部の小集落は孤立の可能性が高く、孤立対策も課題である。

佐賀地区、有井川地区、上川口地区、浮鞭地区、早咲地区、入野地区、下田の口地区、田野浦地区、出口地区は黒潮町の沿岸部に位置し、全て津波浸水する地区である。海岸沿いに集落があり、背後は急峻な崖となっており、災害時には集落は津波浸水、背後は土砂災害の発生が予想され、地区の住民が安全で確実に避難できる避難路と避難場所がまだ十分でない。

【整備方針】

(町域全域及び事業地区【佐賀地区、有井川地区、上川口地区、浮鞭地区、早咲地区、入野地区、下田の口地区、田野浦地区、出口地区】における防災上の課題解決のための整備方針)

黒潮町では平成24年3月に内閣府が公表した新想定において最大津波高34.4mが示され、避難放棄者や震災前過疎が懸念された。その後、本町では「黒潮町南海地震・津波防災計画の基本的な考え方」を策定し、町職員全員を対象とした地域担当制を開始した。この取り組みの一環として各地区の必要な避難路及び避難場所、防災拠点の整備を地区とともに考え、整備を進めてきた。

しかしながら、町全域で整備が不十分な地区があることから、引き続き避難路及び避難場所を整備する。また、地区住民が災害時に活動できる拠点施設がない地区があり、早急に整備する必要がある。

佐賀地区、田野浦地区は、本整備計画策定時には、津波浸水想定内において津波避難困難区域が解消されておらず、地区の住民が安全安心に避難できる避難路及び避難場所を整備を進める必要がある。※令和3年1月時点では解消済み。

また、佐賀地区、有井川地区、上川口地区、浮鞭地区、早咲地区、入野地区、下田の口地区、出口地区では、住民が災害時に活動できる拠点施設がないことから、平時には防災講演や勉強会に使用でき、災害時には確実に使用できる拠点施設を整備する。※令和3年1月時点では、浮鞭地区、下田の口地区は整備済み。

本町では、次代の防災を担う人材を育成するため、上記整備方針と並行して平成27年度から黒潮町防災教育プログラムに基づいて小、中学生を対象に防災教育を行っている。年間10時間のカリキュラムによる知識の蓄積と年間数回行われる防災訓練の積み重ねにより、子どもが自分自身を守ることができ、その先に自分以外の者を守ることができる人材として育つことを目指す。

(様式2)計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県名	高知県	市町村名	黒潮町	計画期間	平成30年度 ～ 令和 4年度
担当部局名	部(局) 情報防災課 消防防災係・南海地震対策係	担当者	(正)村越 淳・野村 季史 (副) (副)	連絡先	TEL 0880-43-2188 FAX 0880-43-2060 e-mail johobosai@town.kuroshio.lg.jp

【都市防災総合推進事業】

事業区分		事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		国費率	交付対象事業費(予定)額	
					開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費
地区公共 施設等整備	地区公共	黒潮町	佐賀地区(避難路・避難広場) Σ N=2箇所、L=146m、W=1.5m、 A=130	350ha	平成30年度	平成30年度	2/3	31.0 31.0	20.7 20.7
	地区公共	黒潮町	田野浦地区(避難路) Σ N=1箇所、L=100m、W=1.5m	346ha	平成30年度	平成30年度	2/3	12.0 12.0	8.0 8.0
	地区公共	黒潮町	入野地区(耐震性貯水槽) Σ N=1箇所、40t	551ha	令和2年度	令和2年度	1/2	113.0 113.0	56.5 56.5
	防災まちづくり拠点 (直接) ※経過措置	黒潮町	佐賀地区(佐賀地区防災まちづ くり拠点施設整備) Σ N=1箇所	350ha	令和4年度	令和4年度	1/2	35.0 35.0	17.5 17.5
	防災まちづくり拠点 (間接) ※経過措置	黒潮町	有井川地区(有井川地区防災ま ちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	316ha	令和3年度	令和4年度	1/2 用地1/3	65(1/2:50.0、1/3:15.0) 65(1/2:50.0、1/3:15.0)	30(1/2:25.0、1/3:5.0) 30(1/2:25.0、1/3:5.0)
	防災まちづくり拠点 (間接) ※経過措置	黒潮町	浮鞆地区(鞆地区防災まちづ くり拠点施設整備) Σ N=1箇所	282ha	平成30年度	令和元年度	1/2	35.0 35.0	17.5 17.5
	防災まちづくり拠点 (直接) ※経過措置	黒潮町	入野地区(入野地区防災まちづ くり拠点施設整備) Σ N=1箇所	551ha	令和2年度	令和2年度	1/2 用地1/3	44(1/2:35.0、1/3:9.0) 44(1/2:35.0、1/3:9.0)	20.5(1/2:17.5、1/3:3.0) 20.5(1/2:17.5、1/3:3.0)
	防災まちづくり拠点 (直接) ※経過措置	黒潮町	下田の口地区(下田の口地区防 災まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	284ha	令和元年度	令和元年度	1/2 用地1/3	44(1/2:35.0、1/3:9.0) 44(1/2:35.0、1/3:9.0)	20.5(1/2:17.5、1/3:3.0) 20.5(1/2:17.5、1/3:3.0)
	防災まちづくり拠点 (直接) ※経過措置	黒潮町	出口地区(出口地区防災まちづ くり拠点施設整備) Σ N=1箇所	346ha	令和2年度	令和2年度	1/2	50.0 50.0	25.0 25.0
	地区緊急避難施設 (直接)	黒潮町	早咲地区(早咲地区緊急避難施 設整備) Σ N=1箇所	386ha	令和3年度	令和3年度	1/2 用地1/3	50(1/2:35.0、1/3:15.0) 50(1/2:35.0、1/3:15.0)	22.5(1/2:17.5、1/3:5.0) 22.5(1/2:17.5、1/3:5.0)
	地区緊急避難施設 (直接)	黒潮町	上川口地区(上川口地区緊急避 難施設整備) Σ N=1箇所	236ha	令和4年度	令和4年度	1/2 用地1/3	50.0 (1/2:35.0、1/3:15.0)	22.5 (1/2:17.5、1/3:5.0)
合計								479.0 529.0	238.7 261.2

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注) 複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。

(様式3) 関連事業〔都市防災上の課題解決に関連する事業〕

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模(面積、延長、幅員等)	総事業費 (国費ベース)	事業期間		事業実施状況	重点密集 市街地の有無
					開始年度	終了年度		
社会資本整備総合交付金 C事業(効果促進事業)	黒潮町	黒潮町	1式	70.0 (35.0)	H30	R4	地域の子どもの安全に資する側溝蓋設置、ガードレール設置、カーブミラー設置、街路灯等を設置、資機材購入等整備	無
漁港漁村環境整備事業	黒潮町	佐賀地区	避難路 2箇所	44.0 (29.3)	H26	H30	H26～30年度に避難路を整備予定	無
農村地域防災減災事業	黒潮町	下田の口他2地区	避難路 4箇所 避難広場 2箇所	419.0 (279.0)	H29	R3	H27～31年度に避難路、避難広場を整備予定	無
小・中学校防災訓練	黒潮町 教育委員会	黒潮町	町内10校(小学校、中学校)	0.0	H24	なし	各校年数回 保育所と合同訓練も実施	無
黒潮町防災教育	黒潮町 教育委員会	黒潮町	町内10校(小学校、中学校) 年間10時間のカリキュラム	0.0	H27	なし	平成27年度から黒潮町津波防災教育プログラムに基づき実施	無

注) 総事業費について百万円単位。

(様式4)年度別事業計画1【参考】

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

事業区分		事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	国費率	交付対象事業費(予定)額 [国費ベース]					
							令和元年度以前	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
地区公共施設等整備	地区公共	黒潮町	佐賀地区	避難路・避難広場 Σ N=2箇所、L=146m、 W=1.5m、A=130	×	2/3	20.7 20.7	－ －	－ －	－ －	－ －	20.7 20.7
	地区公共		田野浦地区	避難路 Σ N=1箇所、 L=100m、	×	2/3	8.0 8.0	－ －	－ －	－ －	－ －	8.0 8.0
	地区公共		入野地区	耐震性貯水槽 Σ N=1箇所、40t	×	1/2	－ －	56.5 56.5	－ －	－ －	－ －	56.5 56.5
	防災まちづくり拠点 (直接) ※R2以降経過措置		佐賀地区	佐賀地区防災まちづくり 拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	－ －	－ －	－ －	17.5 17.5	－ －	17.5 17.5
	防災まちづくり拠点 (直接) ※R2以降経過措置		有井川地区	有井川地区防災まちづくり 拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	－ －	－ －	－ －	30.0 30.0	－ －	30.0 30.0
	防災まちづくり拠点 (直接) ※R2以降経過措置		浮鞭地区	浮鞭地区地区防災まちづくり 拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	17.5 17.5	－ －	－ －	－ －	－ －	17.5 17.5
	防災まちづくり拠点 (直接) ※R2以降経過措置		入野地区	入野地区防災まちづくり 拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	－ －	20.5 20.5	－ －	－ －	－ －	20.5 20.5
	防災まちづくり拠点 (直接) ※R2以降経過措置		下田の口地区	下田の口地区防災まちづくり 拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	20.5 20.5	－ －	－ －	－ －	－ －	20.5 20.5
	防災まちづくり拠点 (直接) ※R2以降経過措置		出口地区	出口地区防災まちづくり 拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	－ －	25.0 25.0	－ －	－ －	－ －	25.0 25.0
	地区緊急避難施設 (直接)		早咲地区	早咲地区緊急避難施設 整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	－ －	－ －	22.5 22.5	－ －	－ －	22.5 22.5
	地区緊急避難施設 (直接)		上川口地区	上川口地区緊急避難施設 整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	－ －	－ －	－ －	22.5 22.5	－ －	22.5 22.5
	合計						66.7 66.7	102.0 102.0	22.5 22.5	47.5 70.0	－ －	238.7 261.2

(様式5)年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	H30	R1	R2	R3	R4	計
佐賀地区	避難路	用地以外	2/3	20.7	-	-	-	-	20.7
	避難広場			20.7	-	-	-	-	20.7
	佐賀地区防災まちづくり拠点施設整備	用地以外	1/2	-	-	-	-	17.5	17.5
				-	-	-	-	17.5	17.5
有井川地区		用地以外	1/2	-	-	-	-	25.0	25.0
		-	-	-	-	-	25.0	25.0	
	有井川地区防災まちづくり拠点施設整備	用地	1/3	-	-	-	-	5.0	5.0
				-	-	-	-	5.0	5.0
浮鞭地区	浮鞭地区防災まちづくり拠点施設整備	用地以外	1/2	-	17.5	-	-	-	17.5
入野地区	耐震性貯水槽	用地以外	1/2	-	-	56.5	-	-	56.5
		-	-	-	56.5	-	-	56.5	
		用地以外	1/2	-	-	17.5	-	-	17.5
		-	-	-	17.5	-	-	17.5	
	入野地区防災まちづくり拠点施設整備	用地	1/3	-	-	3.0	-	-	3.0
				-	-	3.0	-	-	3.0
下田の口地区		用地以外	1/2	-	17.5	-	-	-	17.5
		-	-	17.5	-	-	-	17.5	
	下田の口地区防災まちづくり拠点施設整備	用地	1/3	-	3.0	-	-	-	3.0
				-	3.0	-	-	-	3.0
田野浦地区	避難路	用地以外	2/3	8.0	-	-	-	-	8.0
		8.0	-	-	-	-	-	8.0	
出口地区	出口地区防災まちづくり拠点施設整備	用地以外	1/2	-	-	25.0	-	-	25.0
		-	-	25.0	-	-	-	25.0	
早咲地区		用地以外	1/2	-	-	-	17.5	-	17.5
		-	-	-	-	17.5	-	17.5	
	地区緊急避難施設	用地	1/3	-	-	-	5.0	-	5.0
				-	-	-	5.0	-	5.0
上川口地区		用地以外	1/2	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	17.5	17.5	
	地区緊急避難施設	用地	1/3	-	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	5.0	5.0
			合計	28.7	38.0	102.0	22.5	47.5	238.7
				28.7	38.0	102.0	22.5	70.0	261.2

○用地取得面積

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【㎡単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	H30	R1	R2	R3	R4	計
有井川地区	有井川地区防災まちづくり拠点施設整備	用地	1/3					600.0	600.0
								600.0	600.0
入野地区	入野地区防災まちづくり拠点施設整備	用地	1/3			400.0			400.0
						400.0			400.0
下田の口地区	下田の口地区防災まちづくり拠点施設整備	用地	1/3		400.0				400.0
					400.0				400.0
早咲地区	地区緊急避難施設	用地	1/3				900.0		900.0
							900.0		900.0
上川口地区	地区緊急避難施設	用地	1/3					-	-
								900.0	900.0

地区名	黒潮町全域	面積	901	避難困難者数	1,989	区域	高知県黒潮町
-----	-------	----	-----	--------	-------	----	--------



地区名	黒潮町全域	面積	901	避難困難者数	1,989	区域	高知県黒潮町
-----	-------	----	-----	--------	-------	----	--------

2. 津波避難施設の整備計画

	地区名	地区面積 (ha)	避難困難 者数(人)	避難困難者解消 目標年度					
				H25	H26	H27	H28	H29	H30
1	鈴地区	40	15	0	0	0	0	15	0
2	藤縄地区	57	20	0	0	0	0	20	0
3	佐賀地区	350	700	180	0	0	200	0	320
4	白浜地区	45	77	0	0	0	0	77	0
5	灘地区	158	43	0	0	0	0	0	43
6	有井川地区	317	54	0	0	0	0	54	0
7	浮鞭地区	282	200	0	0	0	0	200	0
8	加持地区	400	20	0	0	0	0	0	20
9	入野地区	551	710	710	0	0	0	0	0
10	田野浦地区	317	100	0	0	0	0	0	100
11	出口地区	346	50	0	0	0	0	50	0
計		2863	1,989	890	0	0	200	416	483

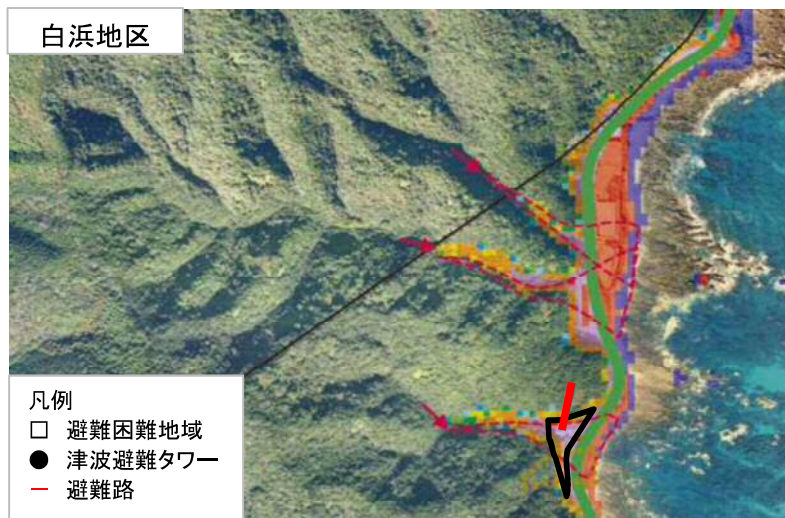
当町は新想定直後、地元要望や地形特性、用地など諸条件を基に避難道を整備してきています。その上でどうしても逃げられない場所について避難困難地域を設定し、津波避難タワーや避難施設での区域解消を計画しています。従って避難困難地域内の避難困難者解消は避難タワー整備と津波避難緊急事業計画上の避難施設のみとなります。

[illegible]

[illegible]

地区名	黒潮町全域	面積	901	避難困難者数	1,989	区域	高知県黒潮町
-----	-------	----	-----	--------	-------	----	--------

白浜地区



有井川地



灘地区

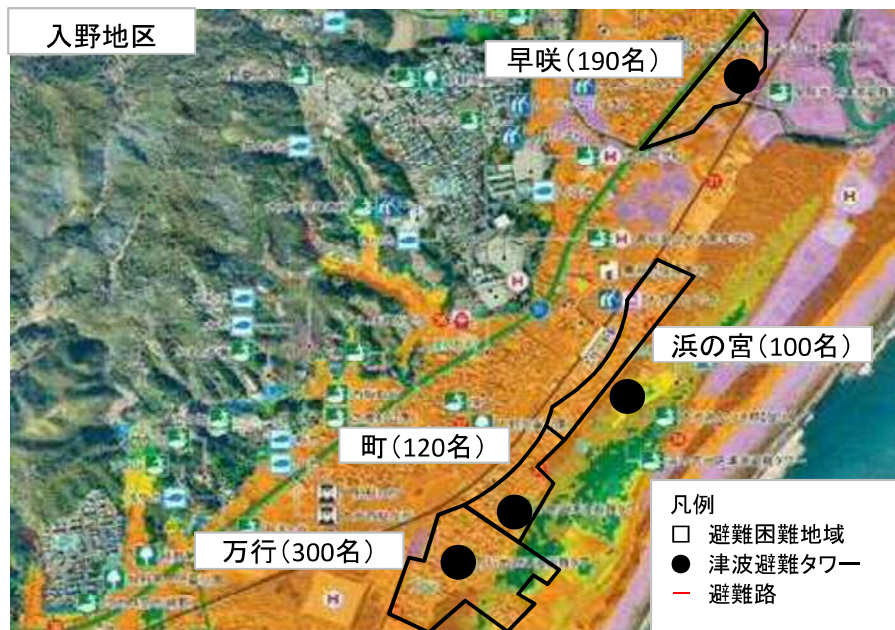


浮鞭地区

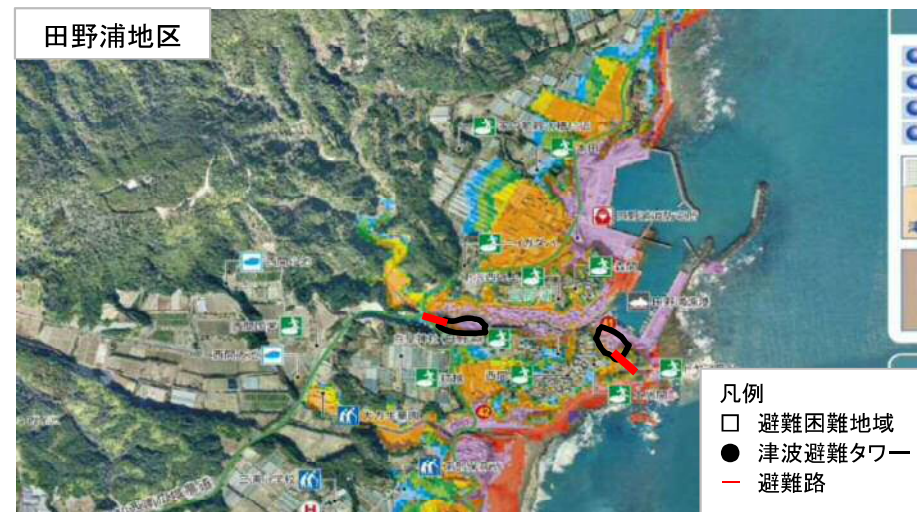


地区名	黒潮町全域	面積	901	避難困難者数	1,989	区域	高知県黒潮町
-----	-------	----	-----	--------	-------	----	--------

入野地区



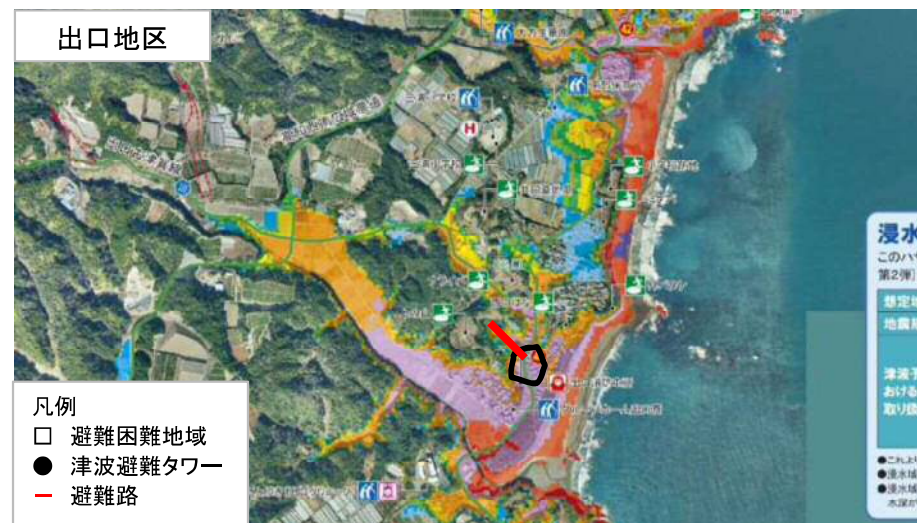
田野浦地区

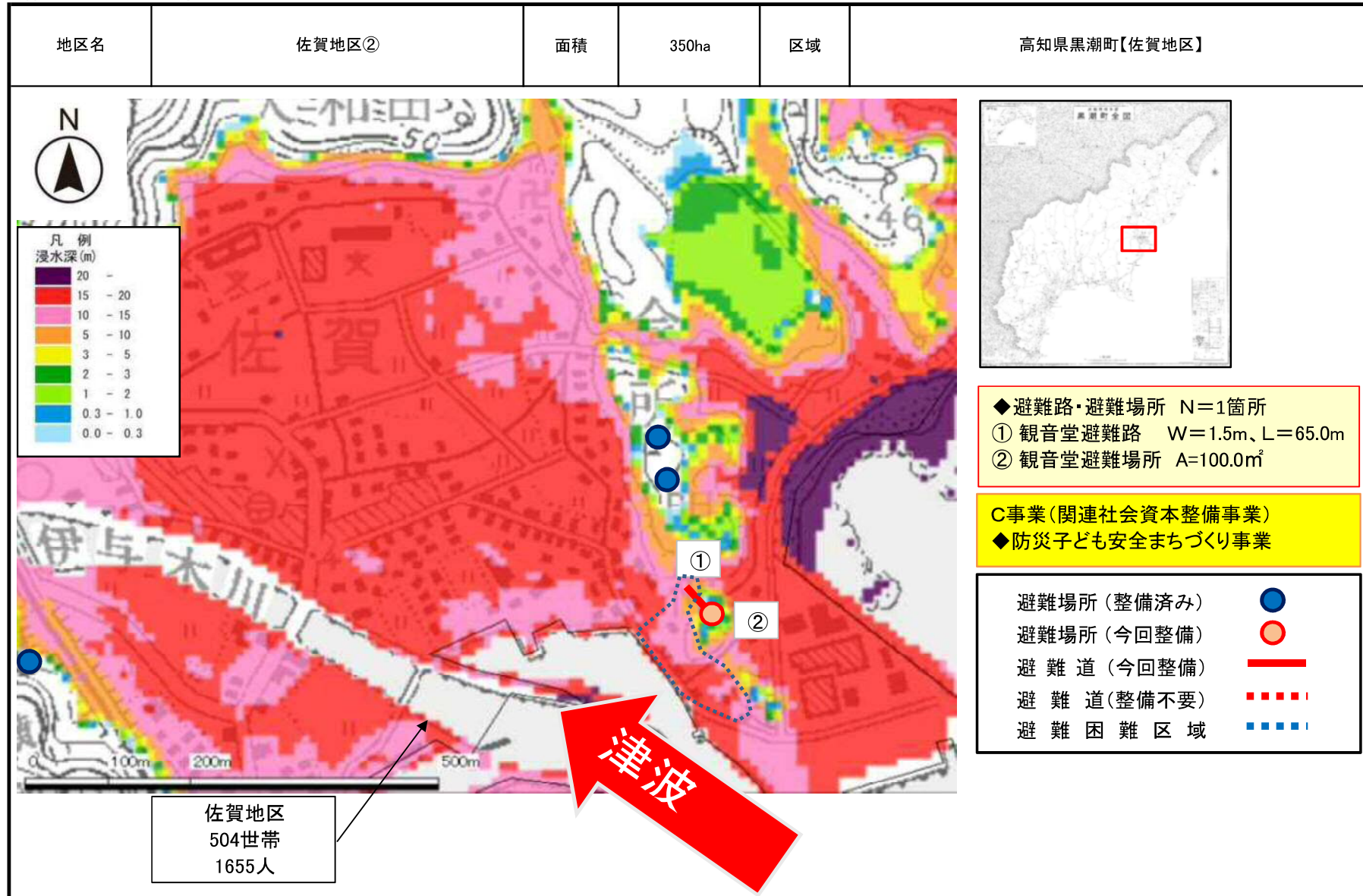


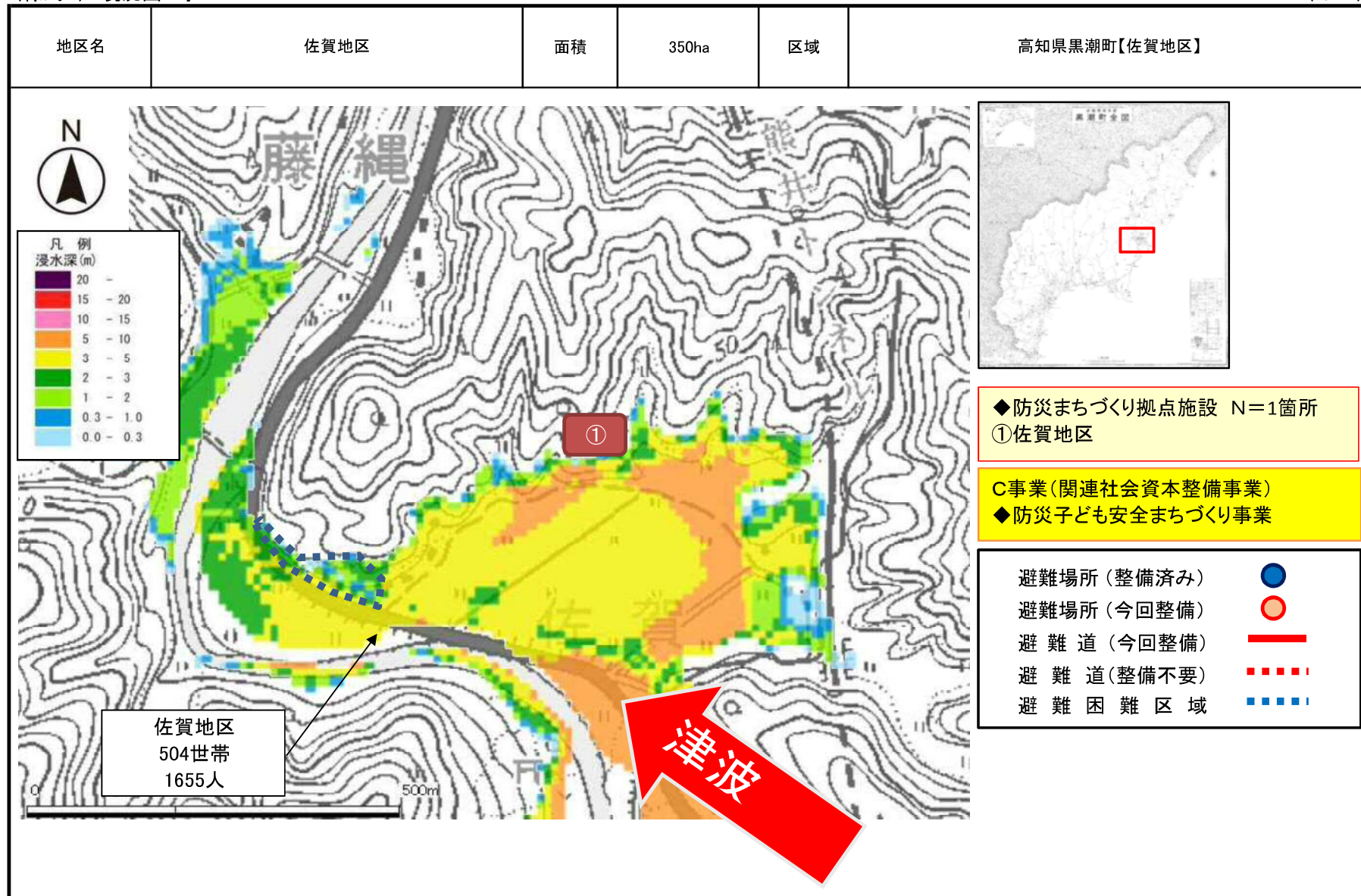
加持地区



出口地区







地区名	佐賀地区	面積	350ha	区域	高知県黒潮町【佐賀地区】
-----	------	----	-------	----	--------------

防災まちづくり拠点施設

【目的】

津波浸水想定区域がある佐賀地区において、住民が災害時に活動できる拠点施設がないことから、地区の防災拠点となる施設を高台に整備し、災害時には確実に使用できる拠点施設によって地区の防災性の向上を図るものである。

【施設概要】

平時は佐賀地区の防災力の向上を図るため、防災訓練(2回／年)や研修会等を実施(1回／年)し、防災教育の場として活用する。

災害時は地区住民の生命を守るため、佐賀地区の防災拠点及び一時避難所として活用する。

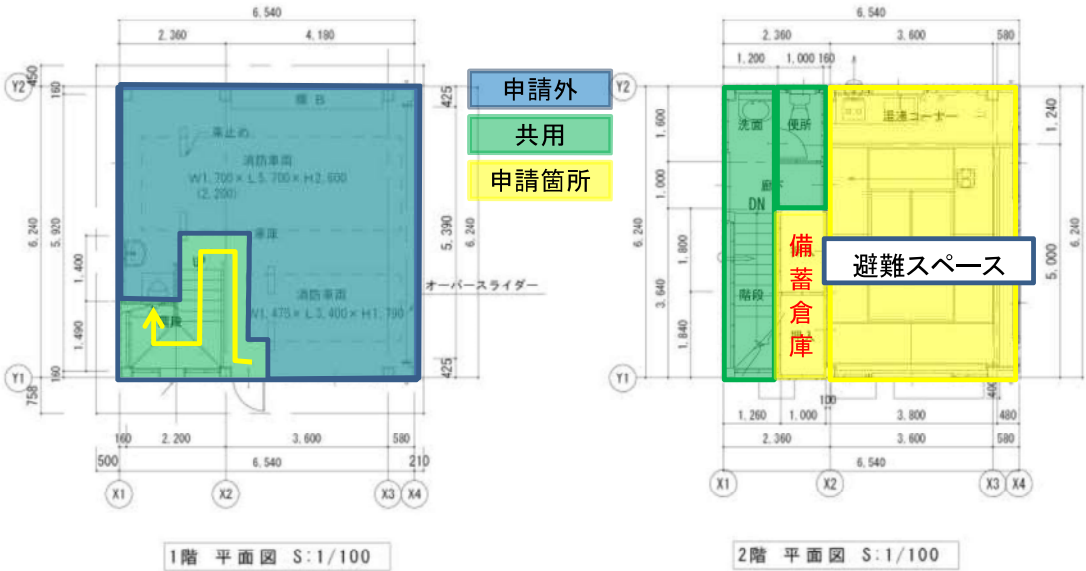
○アロケの考え方

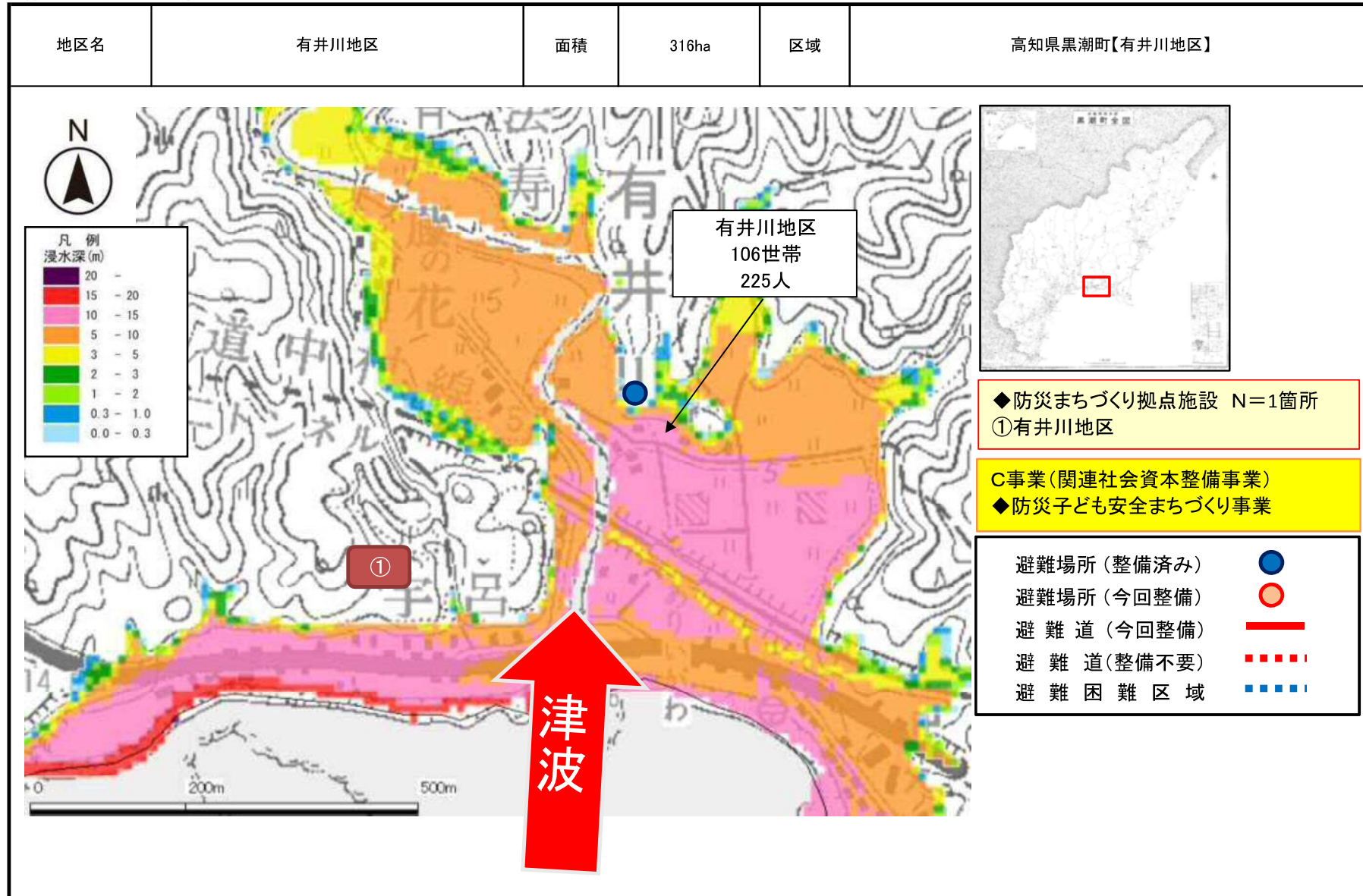
供用面積(対象)＝供用面積×(対象面積/(対象面積+対象外面積))

総対象面積＝対象面積+供用面積(対象)

按分率＝総対象面積/総面積

施設整備イメージ





地区名	有井川地区	面積	350ha	区域	高知県黒潮町【有井川地区】
-----	-------	----	-------	----	---------------

防災まちづくり拠点施設

【目的】

津波浸水想定区域がある有井川地区において、住民が災害時に活動できる拠点施設がないことから、地区の防災拠点となる施設を高台に整備し、災害時には確実に使用できる拠点施設によって地区の防災性の向上を図るものである。

【施設概要】

平時は有井川地区の防災力の向上を図るため、防災訓練(2回/年)や研修会等を実施(1回/年)し、防災教育の場として活用する。
災害時は地区住民の生命を守るため、有井川地区の防災拠点及び一時避難所として活用する

施設整備イメージ

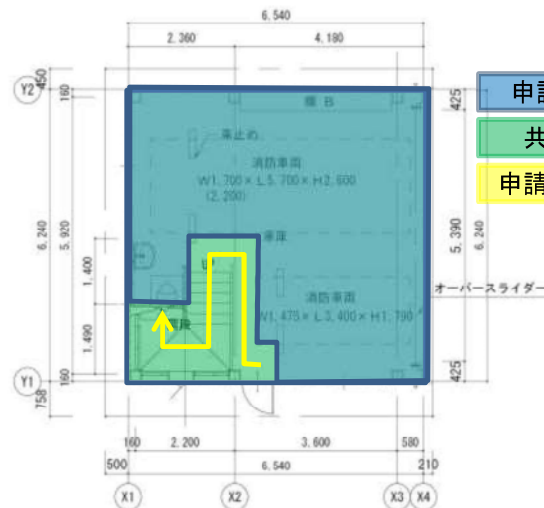


○アロケの考え方

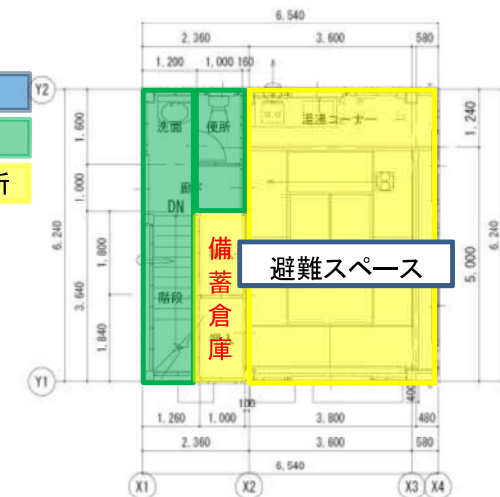
供用面積(対象) = 供用面積 × (対象面積 / (対象面積 + 対象外面積))

総対象面積 = 対象面積 + 供用面積(対象)

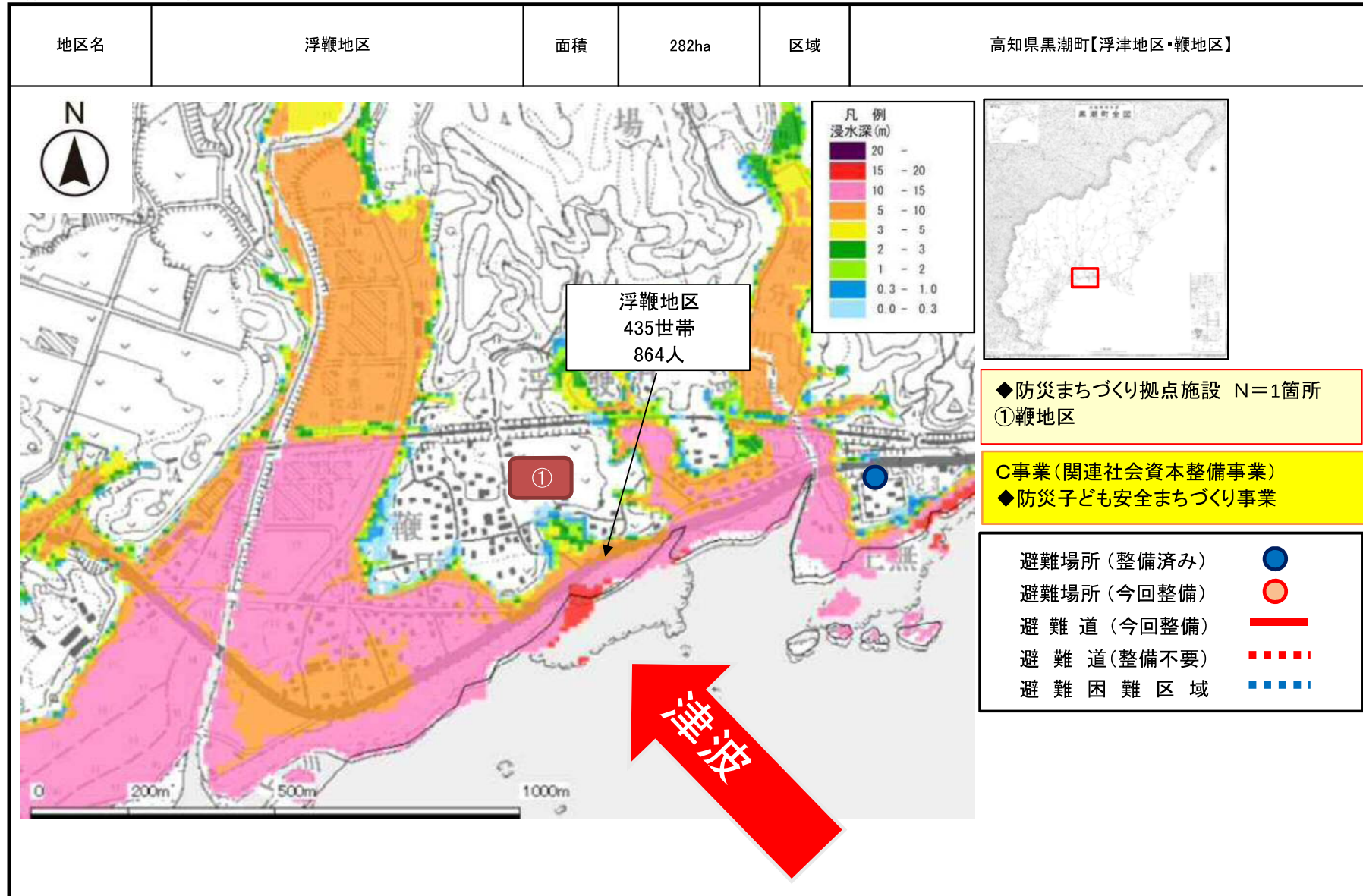
按分率 = 総対象面積 / 総面積



1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100



地区名	浮鞭地区	面積	282ha	区域	高知県黒潮町【鞭地区】
-----	------	----	-------	----	-------------

防災まちづくり拠点施設

【目的】

津波浸水想定区域がある浮鞭地区において、住民が災害時に活動できる拠点施設がないことから、地区の防災拠点となる施設を高台に整備し、災害時には確実に使用できる拠点施設によって地区の防災性の向上を図るものである。

【施設概要】

平時は浮鞭地区の防災力の向上を図るため、防災訓練(2回/年)や研修会等を実施(1回/年)し、防災教育の場として活用する。
災害時は地区住民の生命を守るため、浮鞭地区の防災拠点及び一時避難所として活用する。

施設整備イメージ

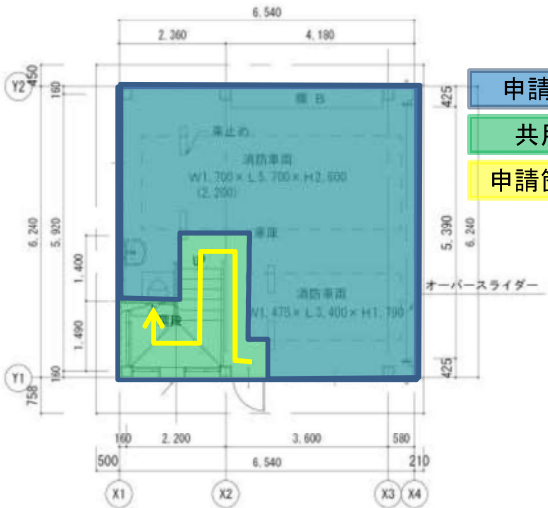


○アロケの考え方

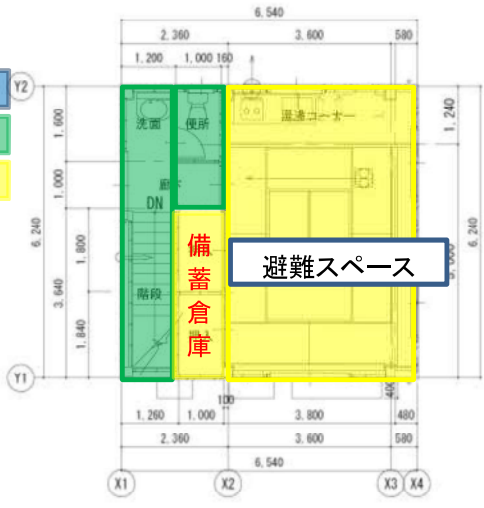
供用面積(対象) = 供用面積 × (対象面積 / (対象面積 + 対象外面積))

総対象面積 = 対象面積 + 供用面積(対象)

按分率 = 総対象面積 / 総面積



1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100



地区名	入野地区	面積	551ha	区域	高知県黒潮町【入野地区】
-----	------	----	-------	----	--------------

防災まちづくり拠点施設

【目的】

津波浸水想定区域がある入野地区において、住民が災害時に活動できる拠点施設がないことから、地区の防災拠点となる施設を高台に整備し、災害時には確実に使用できる拠点施設によって地区の防災性の向上を図るものである。

【施設概要】

平時は入野地区の防災力の向上を図るため、防災訓練(2回／年)や研修会等を実施(1回／年)し、防災教育の場として活用する。
災害時は地区住民の生命を守るため、入野地区の防災拠点及び一時避難所として活用する。

施設整備イメージ

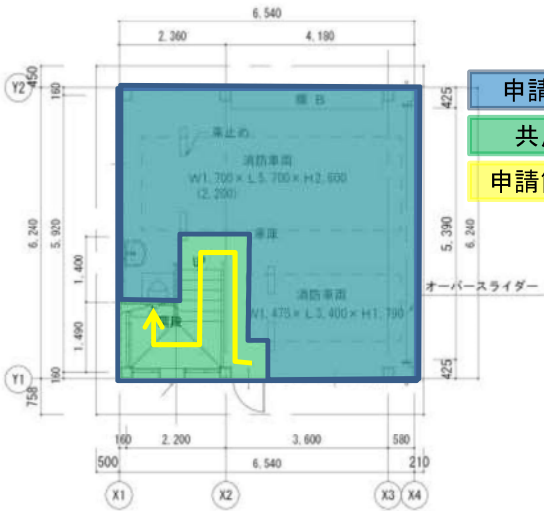


○アロケの考え方

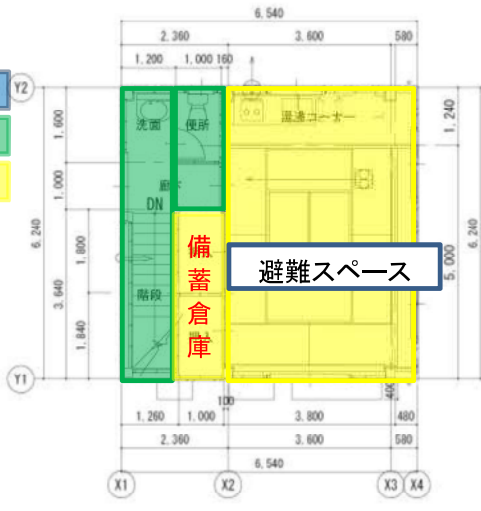
供用面積(対象)＝供用面積×(対象面積/(対象面積+対象外面積))

総対象面積＝対象面積+供用面積(対象)

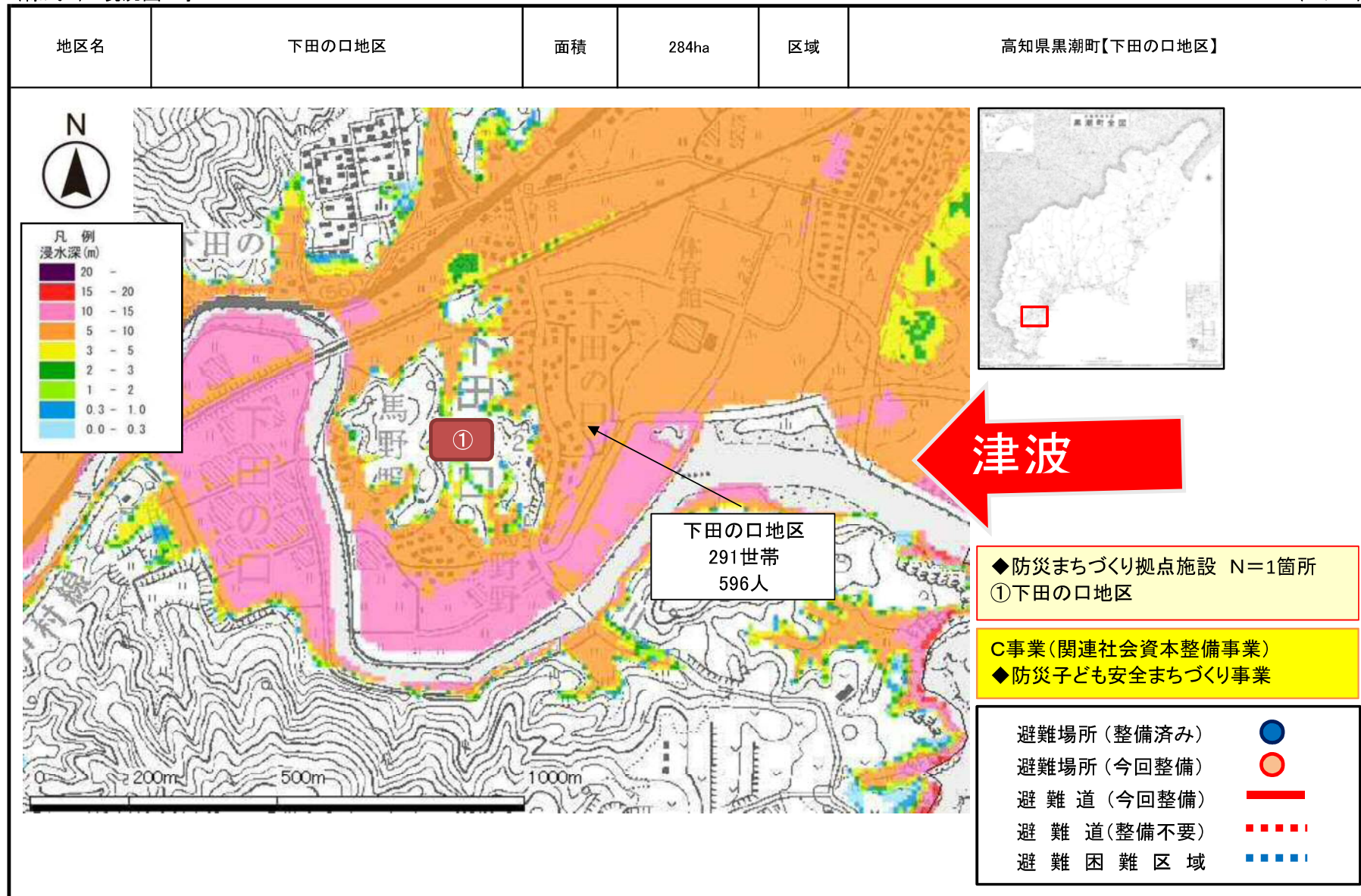
按分率＝総対象面積/総面積



1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100



地区名	下田の口地区	面積	284ha	区域	高知県黒潮町【下田の口地区】
-----	--------	----	-------	----	----------------

防災まちづくり拠点施設

【目的】

津波浸水想定区域がある下田の口地区において、住民が災害時に活動できる拠点施設がないことから、地区の防災拠点となる施設を高台に整備し、災害時には確実に使用できる拠点施設によって地区の防災性の向上を図るものである。

【施設概要】

平時は下田の口地区の防災力の向上を図るため、防災訓練(2回/年)や研修会等を実施(1回/年)し、防災教育の場として活用する。災害時は地区住民の生命を守るため、下田の口地区の防災拠点及び一時避難所として活用

施設整備イメージ

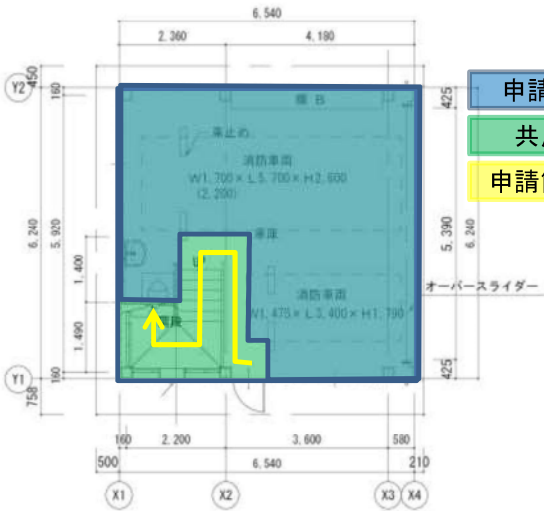


○アロケの考え方

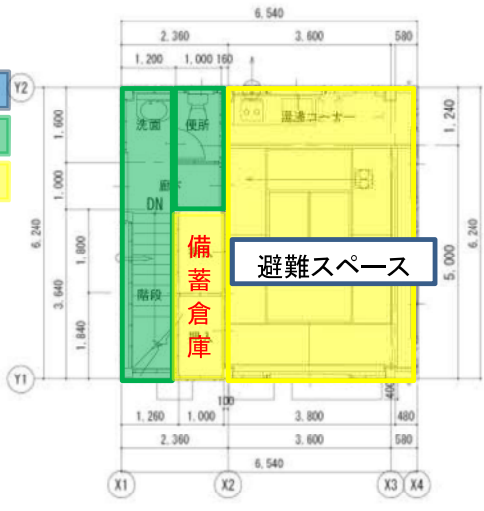
供用面積(対象) = 供用面積 × (対象面積 / (対象面積 + 対象外面積))

総対象面積 = 対象面積 + 供用面積(対象)

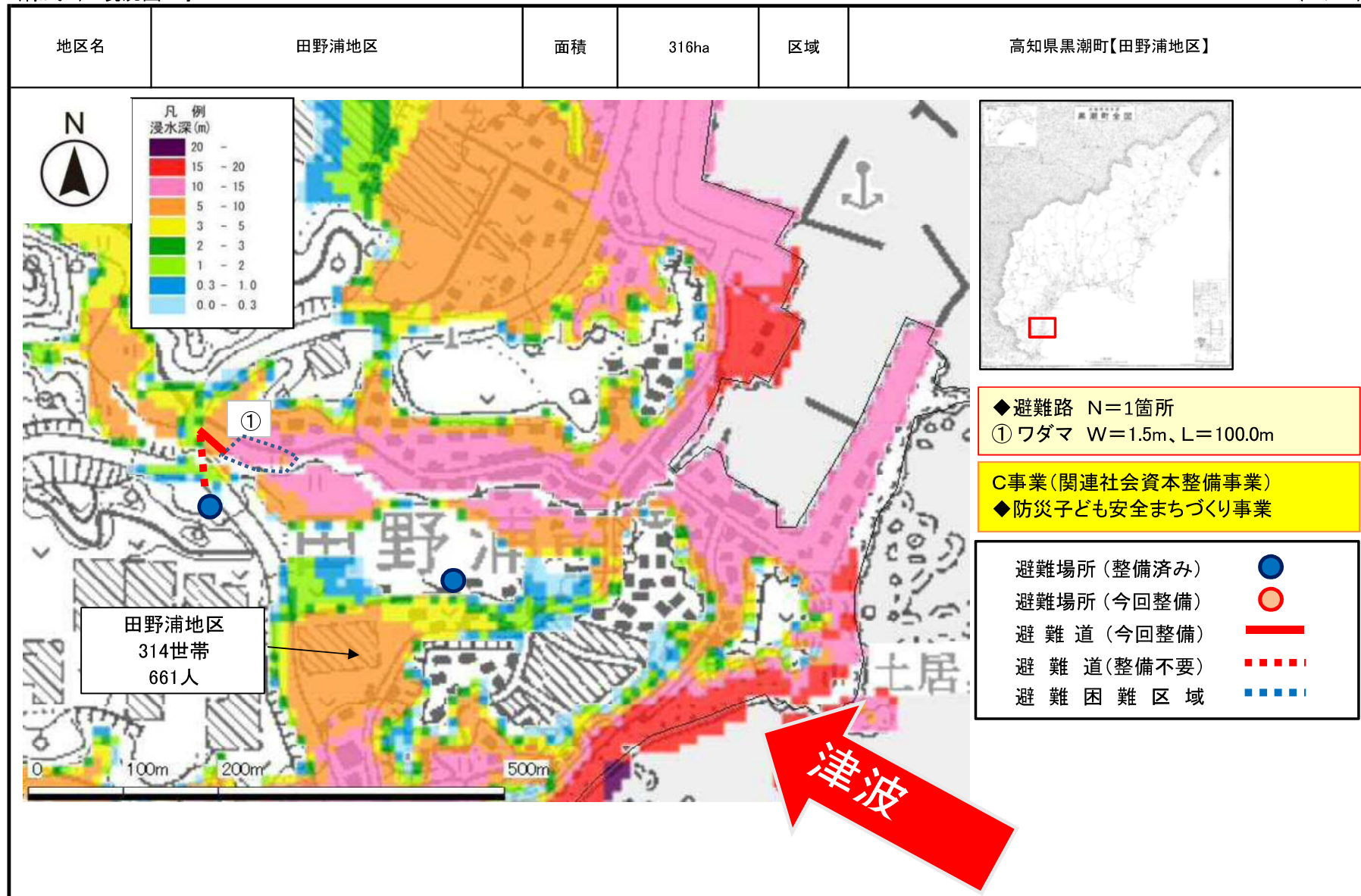
按分率 = 総対象面積 / 総面積

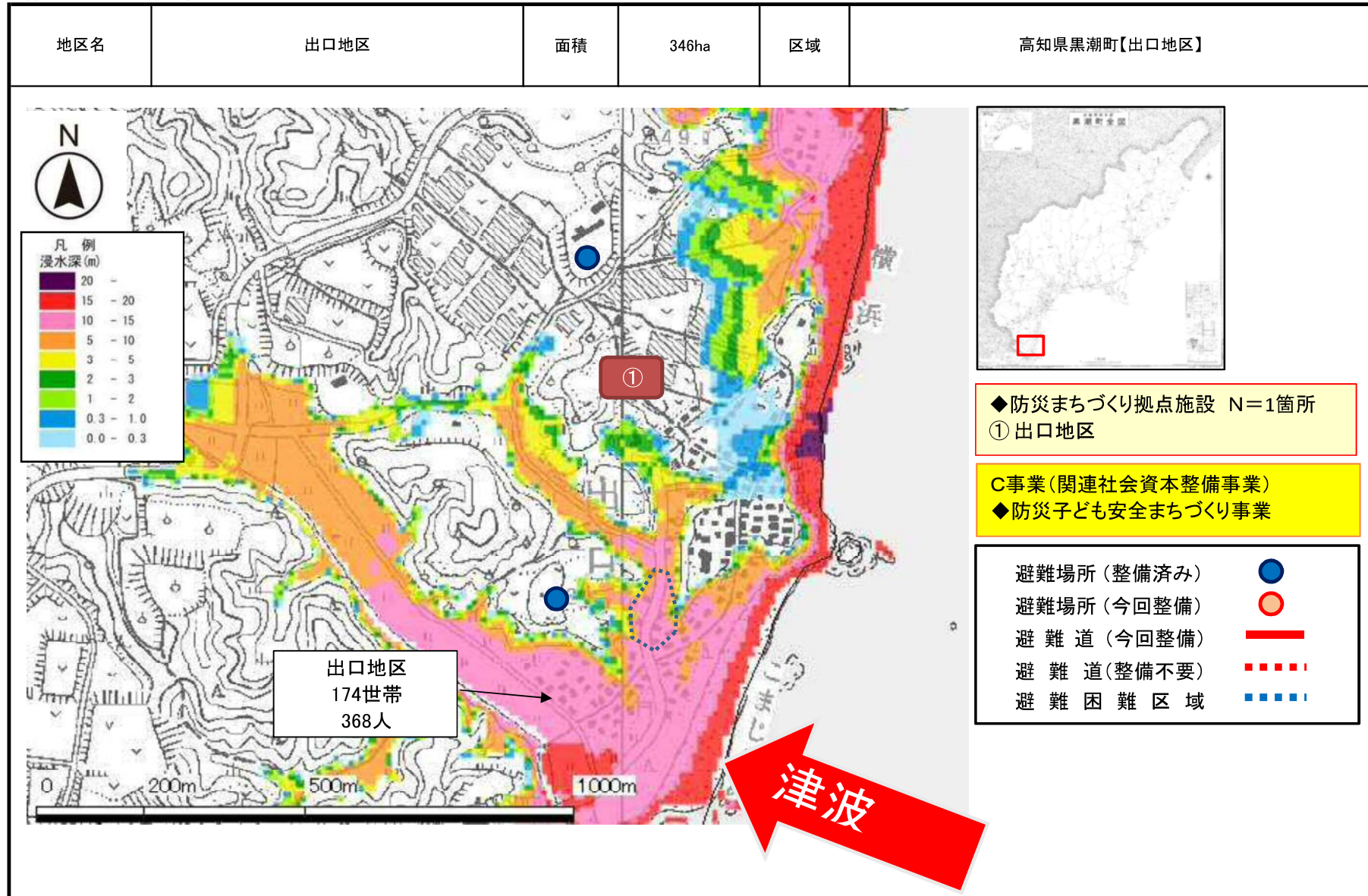


1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100





地区名	出口地区	面積	346ha	区域	高知県黒潮町【出口地区】
-----	------	----	-------	----	--------------

防災まちづくり拠点施設

【目的】

津波浸水想定区域がある出口地区において、住民が災害時に活動できる拠点施設がないことから、地区の防災拠点となる施設を高台に整備し、災害時には確実に使用できる拠点施設によって地区の防災性の向上を図るものである。

【施設概要】

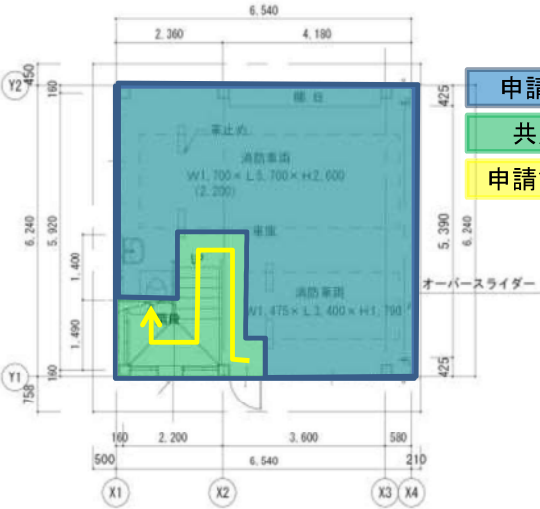
平時は出口地区の防災力の向上を図るため、防災訓練(2回／年)や研修会等を実施(1回／年)し、防災教育の場として活用する。
災害時は地区住民の生命を守るため、出口地区の防災拠点及び一時避難所として活用する。

施設整備イメージ

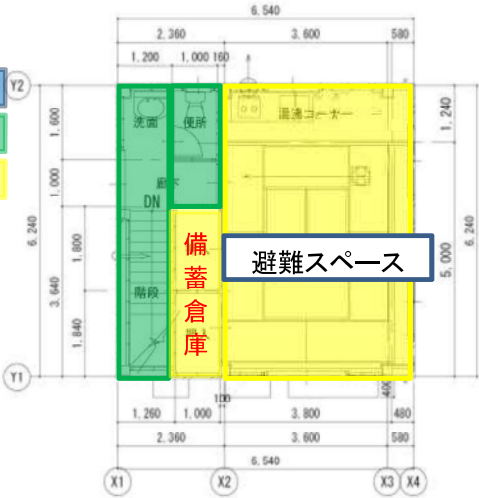


○アロケの考え方

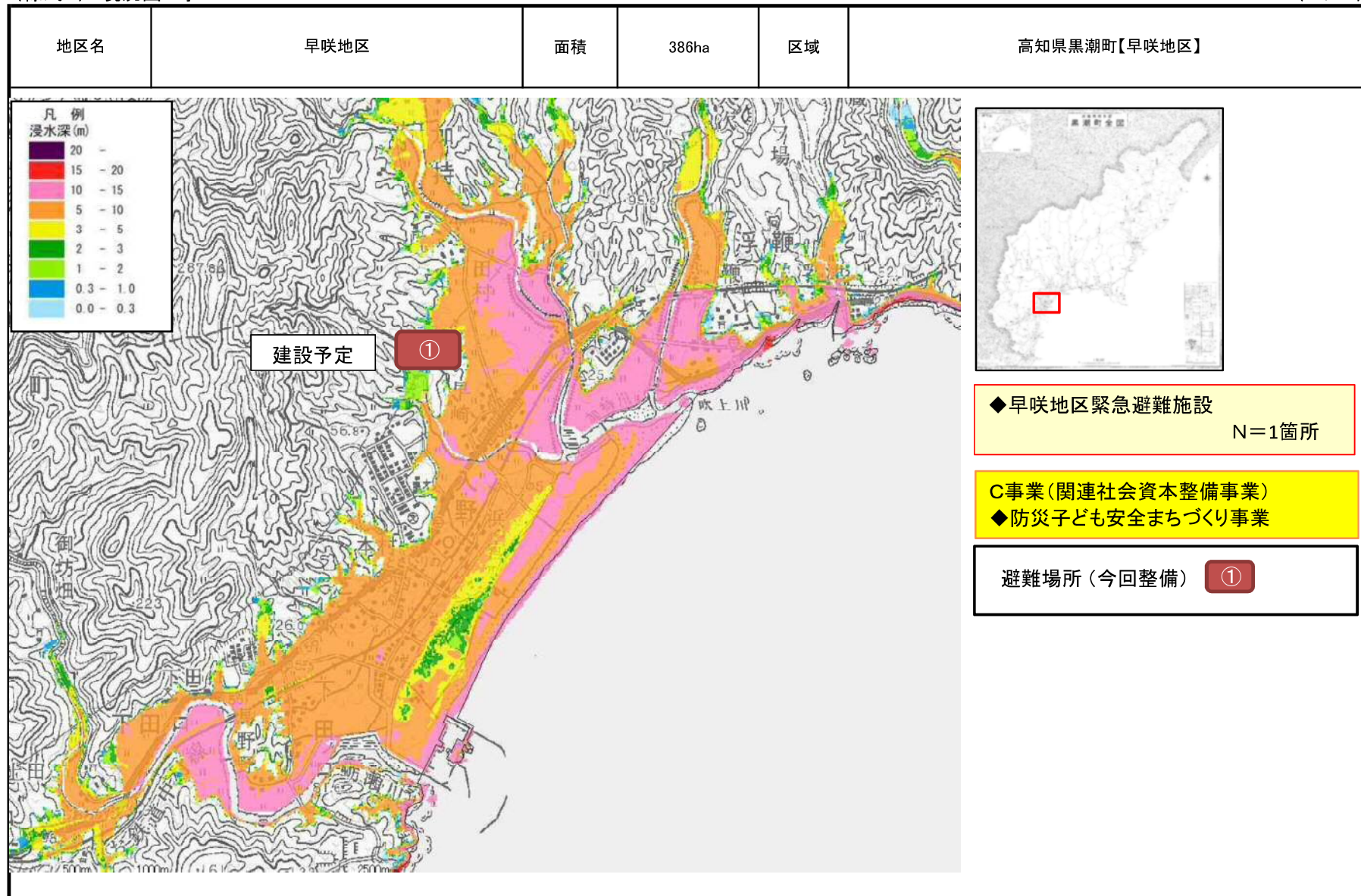
供用面積(対象)＝供用面積×(対象面積/(対象面積+対象外面積))
総対象面積＝対象面積+供用面積(対象)
按分率＝総対象面積/総面積



1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100



地区名	早咲地区	面積	386ha	区域	高知県黒潮町【早咲地区】
-----	------	----	-------	----	--------------

地区緊急避難施設

【目的】

津波浸水想定区域がある早咲地区において、住民が災害時に活動できる拠点施設がないことから、地区の防災拠点となる施設を高台に整備し、災害時には確実に使用できる拠点施設によって地区の防災性の向上を図る

【施設概要】

平時は早咲地区の防災力の向上を図るため、防災訓練(2回／年)や研修会等を実施(1回／年)し、防災教育の場として活用する。
災害時は地区住民の生命を守るため、早咲地区の防災拠点及び一時避難所として活用する。

施設整備イメージ

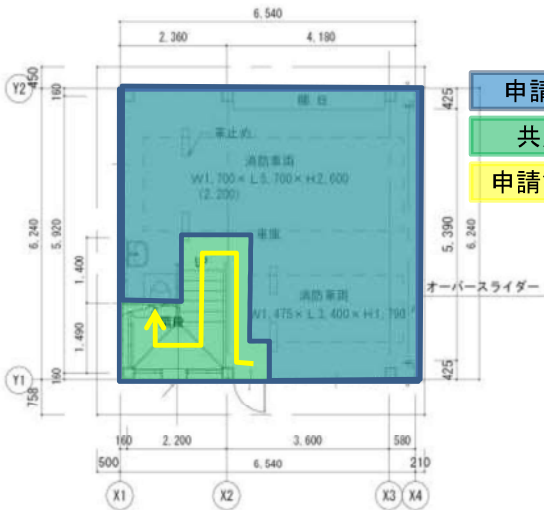


○アロケの考え方

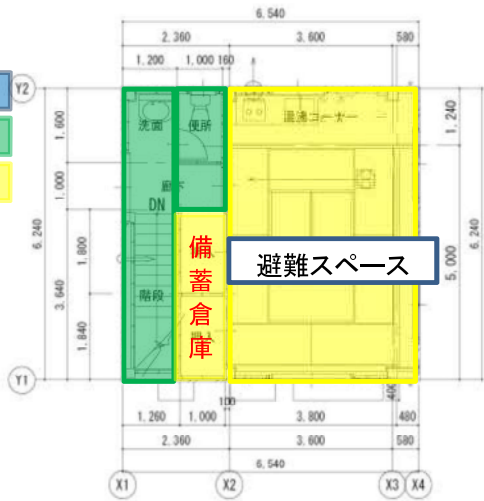
供用面積(対象)＝供用面積×(対象面積/(対象面積+対象外面積))

総対象面積＝対象面積+供用面積(対象)

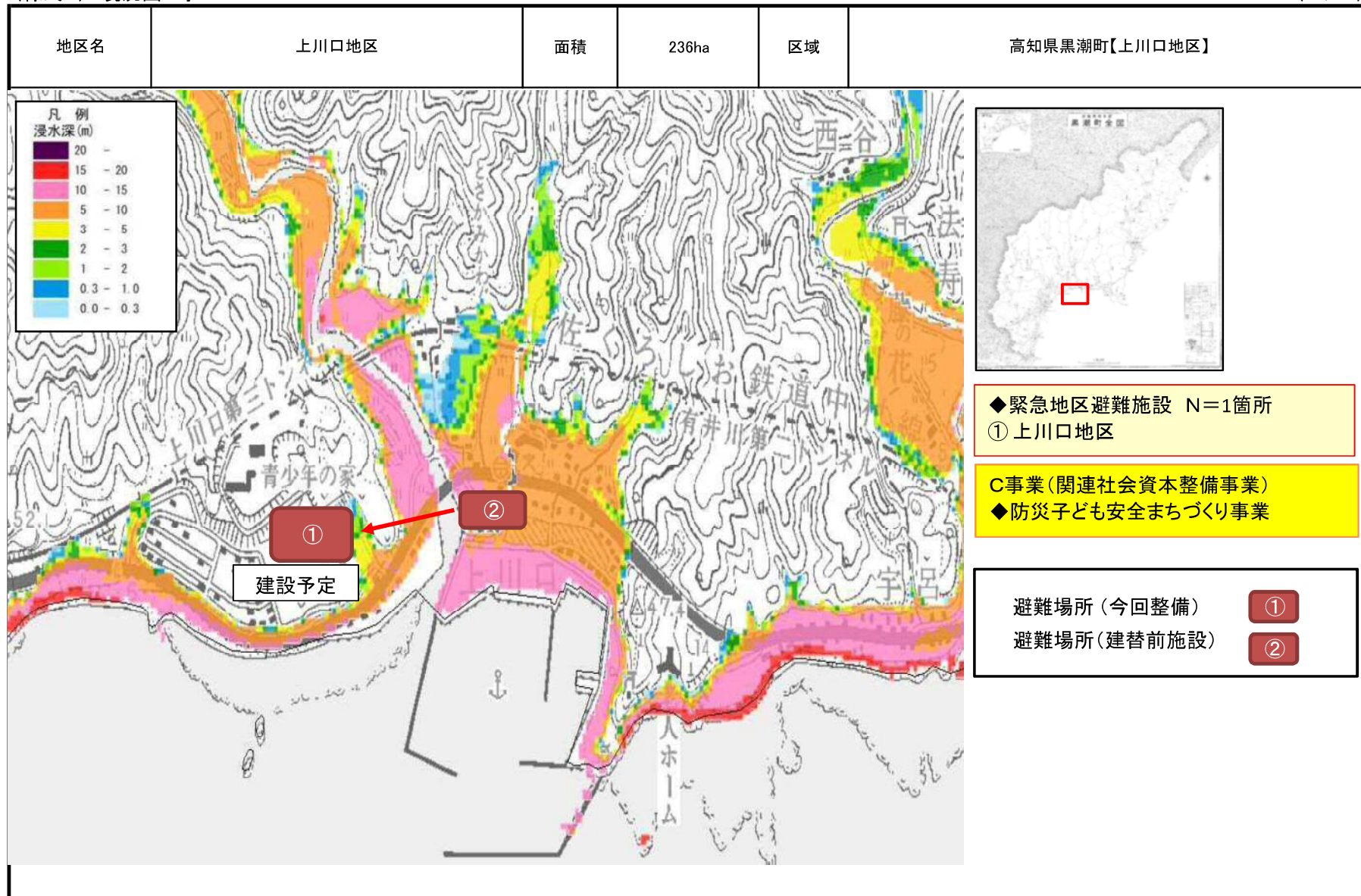
按分率＝総対象面積/総面積



1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100



地区名	上川口地区	面積	236ha	区域	高知県黒潮町【上川口地区】
-----	-------	----	-------	----	---------------

緊急地区避難施設

【目的】

津波浸水想定区域がある上川口地区において、住民が災害時に活動できる拠点施設がないことから、地区の防災拠点となる施設を高台に整備し、災害時には確実に使用できる拠点施設によって地区の防災性の向上を図るものである。

【施設概要】

平時は上川口地区の防災力の向上を図るため、防災訓練(2回/年)や研修会等を実施(1回/年)し、防災教育の場として活用する。
災害時は地区住民の生命を守るため、上川口地区の防災拠点及び一時避難所として活用する

施設整備イメージ



○アロケの考え方

供用面積(対象) = 供用面積 × (対象面積 / (対象面積 + 対象外面積))

総対象面積 = 対象面積 + 供用面積(対象)

按分率 = 総対象面積 / 総面積

